



ROCK PAINT

水性2液高付着力チオニ系エポキシシーラー

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

ハイパーシーラーアクア (透明)

高性能オールラウンドシーラー!! 【有機・無機の全下地に対応!】

特 長

戸建住宅塗り替えで、難付着とされます無機系材、並びに光触媒等の表面処理がされた窯業系サイディングボード塗り替えにおいて、高付着性を実現しました。

環境対応型水性タイプのため、扱いやすくなっています。旧塗膜や素地によく浸透し、付着性にすぐれています。

多用途性

浸透性

高付着性

サイディングボード対応

適用素地

- 窯業系サイディングボード全般
- 無機系素材
屋内外コンクリート、モルタル、フレキシブルボード、スレート板、押出成形板、GRC板、PC板・けい酸カルシウム板 ^{※1}
- 各種新屋根材 ^{※1・※2}
住宅用化粧スレート(カラーべストなど)、セメント瓦、波形スレート ^{※3}
- 有機系素材 ^{※4}
硬質塩ビ、FRP、木部

※1 素地の吸い込みが著しい場合、ぬれ感が出る程度が適量です。また、シーラー乾燥後にガムテープなどで付着の有無を確認してください。

※2 磁器タイル、粘土瓦(いぶし瓦、釉薬瓦)、アスファルトシングル材には適しません。

乾式コンクリート瓦(モニエル瓦、スカンジニア瓦など)への塗装は最寄りの営業所へお問い合わせください。

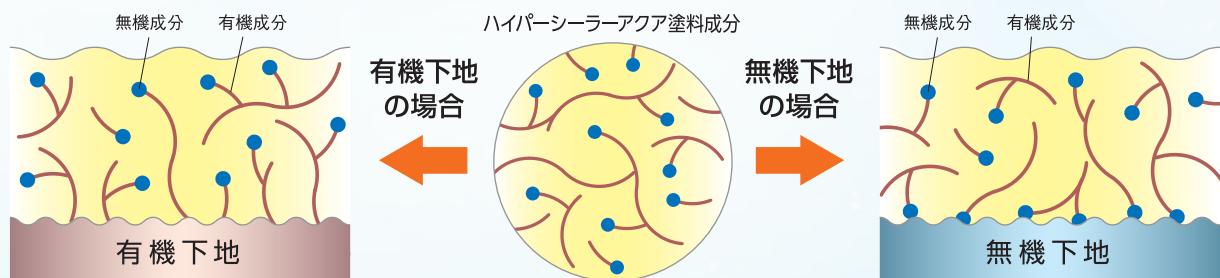
※3 波形スレートは塗り替え用です。

※4 樹脂面、木部には塗装前に十分な表面荒らしが必要です。

ハイパーシーラーアクアの有機・無機、両下地対応のメカニズム

(イメージ図)

有機下地には有機成分が、無機下地には無機成分が付着。幅広い下地に対応します。



ロックペイント 株式会社

ハイパーシーラーアクア(透明)

用 途

●戸建住宅、集合住宅、商業施設など建築内外部壁面及び屋根などの下塗り(屋外、屋内共に使用できます) ※旧塗膜の種類によってはリフティングを起こすことがありますので、試し塗りを行ってください。

適応上塗塗料

●水 性…ハイパービルロックセラ、サンフロンアクア、ロックリアクターコートアクア 等

●溶 剤…ハイパーユメロック、サンフロンUV、ロック ハイパーリアクターコート無機 等

品 番・容 量

●主 剤:033-7700 ハイパーシーラーアクア 14kg
●硬化剤:033-7910 ハイパーシーラーアクア 硬化剤 1kg

使 用 方 法

●塗 装 方 法:ハケ・ローラー・エアレス

●希釈剤・希釈率:水道水(通常希釈不要)

●配合比(重量):主剤:硬化剤=14:1

●塗 装 回 数:1回

●標準塗付量:0.08 ~ 0.13kg/m²・回

●標準塗面積:115 ~ 187m²/15kgセット・回

●可 使 時 間:12時間(23°C)

●乾 燥 時 間

	5°C	23°C	30°C
指触乾燥時間	2時間	1時間	30分
塗り重ね可能時間	6時間以上	4時間以上	2時間以上

施 工 上 の 注 意 事 項

●塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、枯葉などの汚れや、エフロレッセンス、レイターン、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。

●気温が低いときや湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにくくなる性能を発揮できませんので、気温5°C以下、湿度65%以上での塗装は避けください。

●絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けください。

●塗料全般をよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。

●飛散防止のため必ず養生を行ってください。特に吹付け塗装の場合は注意してください。

●ハケ・ローラーなどの塗装用具は水性用を使用してください。

●硬化剤は必ず専用硬化剤を使用してください。他の硬化剤を使用すると仕上がり外観、塗膜性能に悪影響を及ぼします。

●硬化剤を配合した塗料は、時間の経過と共に増粘・固化して使用できなくなります。配合した塗料は可使時間内に使い切ってください。

●夏場の高温時は硬化反応が著しく速まるため、塗り重ね間隔はあまり日数を置かず速やかに実施してください。上塗りとの付着性が低下します。

●上塗りに付着剤型塗料を使用することは避けてください。

●降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装を避けてください。

●シリーリング材の上に塗装する場合、シリーリング材の種類、劣化度により付着不良、吸縫われなどを起こしたり、表面が汚れたりすることがあります。状況によっては、シリーリング材用プライマー「ロックノンタックプライマー」を塗装してください。塗膜の汚染・剥離・はがれ・割れの低減が図られます。シリーリング材の種類によっては汚れ、付着不良が発生する場合がありますので試し塗りすることをお奨めします。なお、ノンプライドタイプのシリーリング材に「ロックノンタックプライマー」は塗装しないでください。

●エマルジョンバーテの外部での使用は避けてください。

●外部の塗装について、塗料臭気が室内に入らないように換気装置などを停止し、開口部などの養生を行ってください。

●塗装面の取り合い等で可塑剤が多く含まれる建材(塗地鋼板、ラミネート鋼板、プラスチック、ゴムパッキン、塗ビクロスなど)への直接の塗装は塗膜が軟化することがありますので避けてください。また、これらの素材に塗膜が接触・付着しないように注意してください。

●蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、その他の断熱性が付与された建材など)を使用した高断熱性住戸の外装を塗装する場合、状況により蓄熱、水分、素地、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、素地の変形、塗膜のふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。

●笠木、天端など長時間水の滞留する箇所では塗膜の白化、はがれなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。

●サイディングボード表面に反り、うねりが発生している場合は、ビスの増す打ちなど状況に応じた補修を行ってください。また補修が困難な場合はボードの張り替えを行ってください。

●けい酸カルシウム板へ塗装する場合は、種類、劣化の度合いによっては付着不良を起こす場合がありますので、試し塗りすることをお奨めします。

●新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。

●屋外セメント系素地に段差・巣穴などがある場合は、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。

●吸い込みの著しい部材については、標準塗付量よりも多くなる場合があります。シーラー塗装は「はれ感が出るまで」を自安に塗装してください。

●シーラー塗装後、塗装仕様の塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすことがありますので、塗り重ね可能時間は守ってください。

●下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。

●本製品はカチオン系であり、一般的な水性塗料と混合するとゲル化して使用できなくなります。また塗装用具を共用することも避けてください。

●さげ缶などはプラスチック容器を使用してください。金属類は錆が発生するおそれがあります。

●素地が濡れている時は塗装を避け、乾いてから塗ってください。また、素地が直射日光などで極端に熱くなっている時は少し冷えてから塗装してください。

●塗装時は、高い所から降り口を確保しながら塗装してください。塗りたての面は滑りやすいので絶対に乗らないでください。塗り残しがあった場合は乾燥後に補修塗りをしてください。

●作業時の安全には十分注意し、高所で作業する場合は安全ロープをかけて行ってください。

●乾燥過程で霜、露などの影響を受ける時間帯や、曇と夜の温度差が大きい時期は、時間を考慮して塗装を行ってください。

●新屋根材などで軽度の不陸がある場合は、下地調整材としてロック水性プロテクトルーフ サフを使用してください。

●無機系、フッ素系などで処理した住宅用化粧スレート(新屋根材)には、下塗りにハイパーシーラーエボを塗装してください。

●陶器瓦、アスフルトシングル材には適していません。

●木の材質、下地の状況によっては割れ、はがれが生じることがありますので、事前に試し塗りを実施し確認してください。

●木部塗装で釘頭には、サビ止め塗料(サビキット)を塗装してください。釘頭が錆びている場合は、サンドペーパーを用いて錆を除去してからサビキットを塗装してください。

●新設の木部の場合は、含水率15%以下で行ってください。また節止めは必ずセラップニスを塗装してください。

●塗装作業中および乾燥中は換気を十分行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。

●使用後のハケなどの用具や、手に付いた塗料はできるだけ早く水で洗い落してください。乾くと落ちにくくなります。

●改修塗装の場合、素地の種類や下地処理方法によって塗膜不良となることがあります。あらかじめ適切な処理を行って試し塗りすることをお奨めします。

●改修塗装の場合、脆弱な旧塗膜、汚れ、チョーキングなどはディスクサンダー、皮スキー、ワイヤーブラシなどで除去し、高圧洗浄を行った後、24時間以上乾燥させてください。(気温23°C、湿度65%の場合)

●旧塗膜が弾性系の塗膜(弾性リシン、弾性スタック)やアクリル樹脂エマルションなどの場合、すぐにふくれが発生していることがあります。そのまま塗装するとふくれが拡大することがありますので、ふくれ箇所は完全に除去してください。

●数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。

●塗り重ね可能時間(乾燥時間)は塗装現場の温度、湿度、風通し、素地の状態などにより、多少変わります。

●各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合塗膜不良となることがあります。また、各工程において当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。

●カタログに記載されている素地及び塗装方法、工程で施工する場合、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所へお問い合わせください。

●この塗料はホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆以外の材料(被塗物、素地を含む)を使用したり、各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、F☆☆☆☆でなくなることがありますので注意してください。

●このカタログに記載されている上塗り塗料などの詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。

※取扱いの際は製品容器の注意書き、製品カタログおよび安全データシート(SDS)をよく読み、注意事項を厳守してください。

安全衛生上および取扱上の注意

製品の危険・有害性

●引火性など危険性のほとんどない製品ですが、目や呼吸器に入ることは避けてください。

【救急処置】

●目に入った場合には多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けてください。

●誤って飲み込んだ場合には、できるだけはやく医師の診察を受けてください。

●蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなつた場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。

●皮膚に付着した場合には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。

【施工後の安全性について】

●本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引き渡しの際は、施主に対して安全性に十分注意を払うようにご指導ください。

●不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ベンキ塗りたてであるなどの立看板等

を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。

【取扱注意事項】

●塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。

●取扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護手袋、保護めがね、保護マスクを着用してください。

●取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行い、作業着等に付着した汚れをよく落してください。

●よくふたをし直射日光を避け、5°C以上40°C以下の安全でかつ子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。

●容器は中身を使いつけてから破棄してください。

●廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。

※安全データシート(SDS)をよく読んでからご使用ください。

販 売 店

ロックペイント 株式会社

東京営業部 T136-0076 東京都江東区南砂2丁目37番2号 TEL (03)3640-6000 FAX (03)3640-9000
大阪営業部 T555-0033 大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号 TEL (06)6473-1650 FAX (06)6473-1000
札幌営業所 T003-0011 札幌市白石区中央一条4丁目3番48号 TEL (011)812-2761 FAX (011)812-9304
仙台営業所 T983-0044 仙台市宮城野区宮千代2丁目3番11号渡正ビル201 TEL (022)349-8677 FAX (022)283-3255
西関東営業所 T252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本1丁目15番16号 TEL (042)700-3111 FAX (042)700-3112
名古屋営業所 T454-0059 名古屋市中川区福川町1丁目1番地 TEL (052)351-6500 FAX (052)361-7433
岡山営業所 T701-1134 岡山市北区三和1000番34 TEL (086)294-1201 FAX (086)294-6966
福岡営業所 T811-0119 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3丁目2番1号 TEL (092)962-0661 FAX (092)963-1241

2025.11KO



スマートフォン等で読み取っていただくと
ロックペイント(株)のHPをご覗いただけます。
<https://www.rockpaint.co.jp>